

2022年5月 今こそ株を買え

2022/04/28

本日のポイント

円安・インフレ

金融引き締め

景気後退

本日のポイント

円安・インフレ

金融引き締め

景気後退

円安が急激に進む



円安・インフレに弱い資産



預金

債券(国債)



保険(貯蓄型)

公的年金
確定給付年金



円安・インフレに強い資産



米国株

コモディティ
(商品)



不動産

日本株
(製造業等)



本日のポイント

円安・インフレ

金融引き締め

景気後退

株はインフレに強い…はずが…

市場概説 > S&P 500

4,183.96

-612.60 (-12.77%) ↓ 年初来

4月27日 17:07 GMT-4 • 免責条項

1日 | 5日 | 1か月 | 6か月 | 年初来 | 1年 | 5年 | 最大



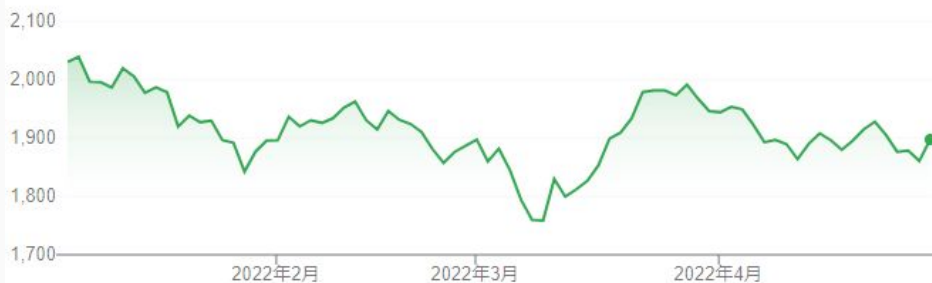
市場概説 > 東証株価指数

1,896.52

-133.70 (-6.59%) ↓ 年初来

4月28日 14:37 JST • 免責条項

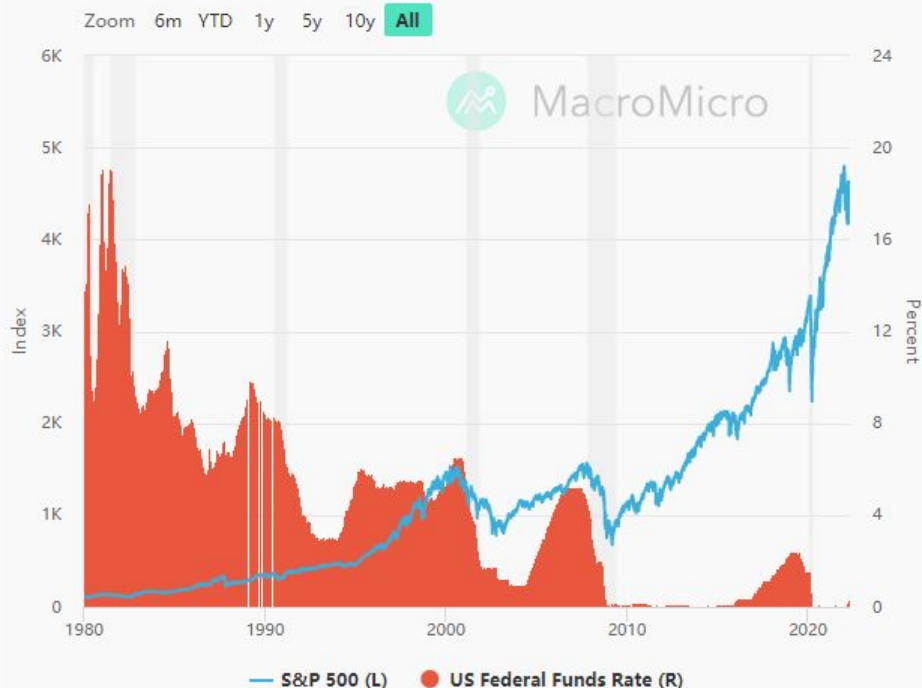
1日 | 5日 | 1か月 | 6か月 | 年初来 | 1年 | 5年 | 最大



金利引き上げ → 株価下落

Federal Funds Rate vs. S&P 500

MacroMicro.me | 財經M平方



金融相場

…金利引き下げで株価上昇

逆金融相場

…金利引き上げで株価下落

なぜ金利が上昇すると成長株が下がる？

$$\text{PER} = \frac{1}{r(\text{金利} + \alpha) - g(\text{成長率})}$$

金利が3%上昇する場合…

$r=7\%$ 、 $g=5\%$ PER50倍

$r=10\%$ 、 $g=5\%$ PER20倍

 ▲60%

本日のポイント

円安・インフレ

金融引き締め

景気後退

現時点での景気後退要因

物価高騰

ロシア・ウクライナで産出される資源・穀物の流通が滞り
価格が高騰。生産者・消費者は **購入を控える** 動き。

政策金利引き上げ

物価高騰を抑えるため、中央銀行は政策金利を引き上げ。
ただし、**供給減による物価高騰には効果がない**。

サプライチェーン混乱

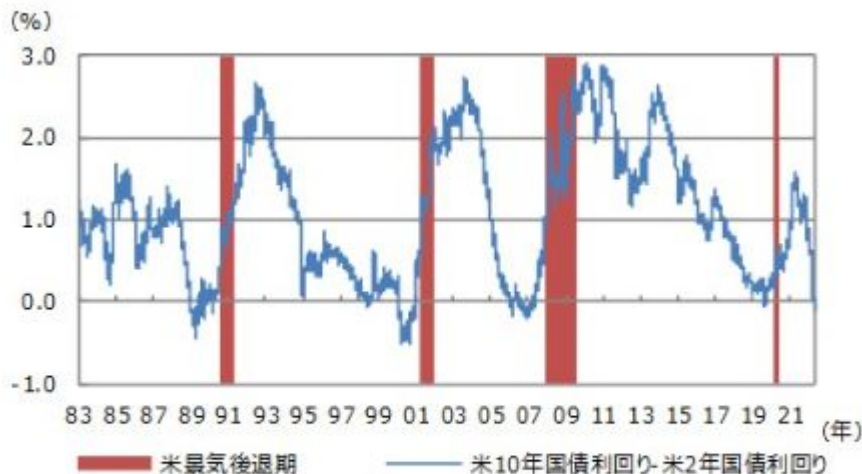
資源供給停滞・物価高騰により、生産ができない。
製造業は開店休業状態となり、**賃金低下・失業者増加**。

中国コロナ政策失敗

オミクロンなどの変異株に対して「ゼロコロナ」は困難。
政策を変えない限り、**消費・生産に多大な影響**。

逆イールドの発生は景気後退のサイン

【図表1：米国の逆イールドと景気後退期】



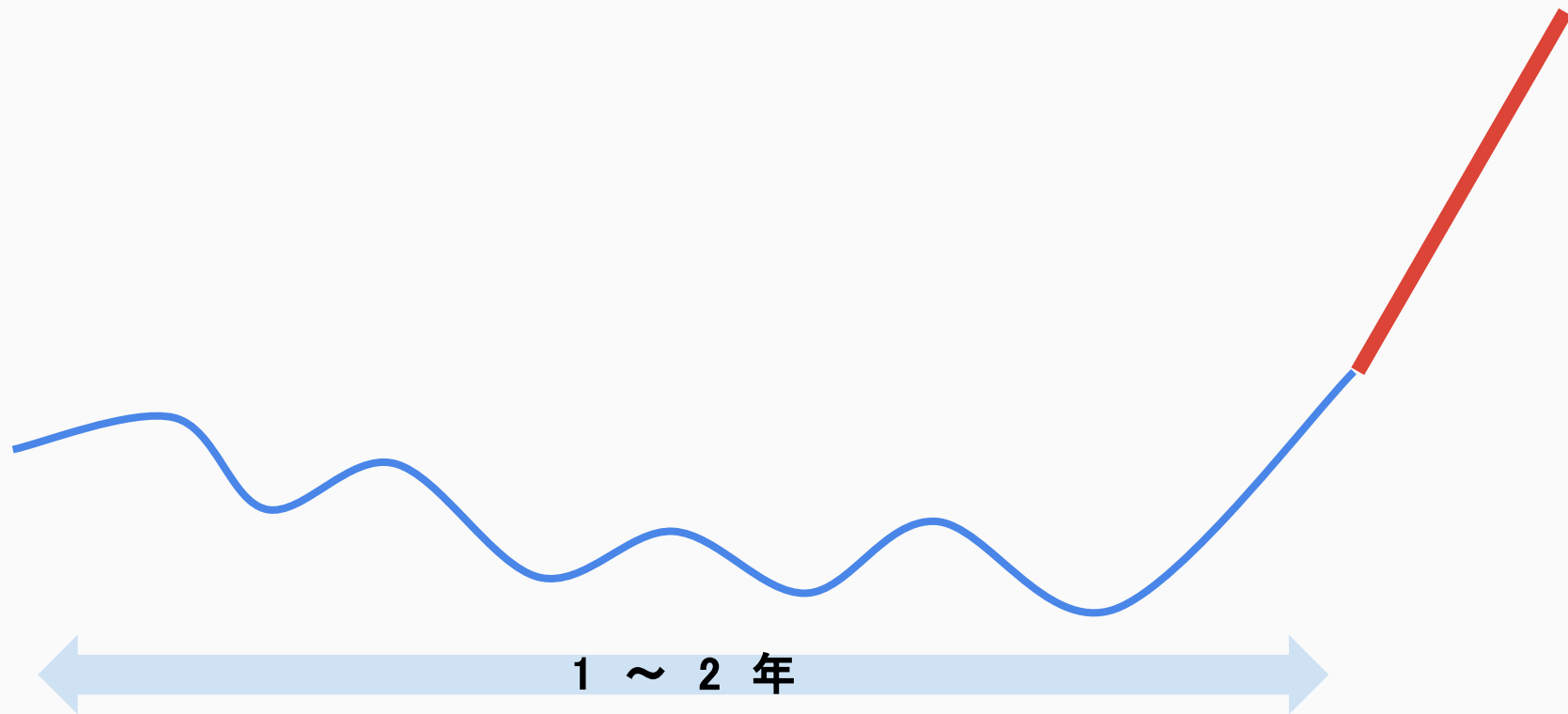
(注) データは1983年1月4日から2022年4月5日。

(出所) Bloombergのデータおよび全米経済研究所 (NBER) の資料を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

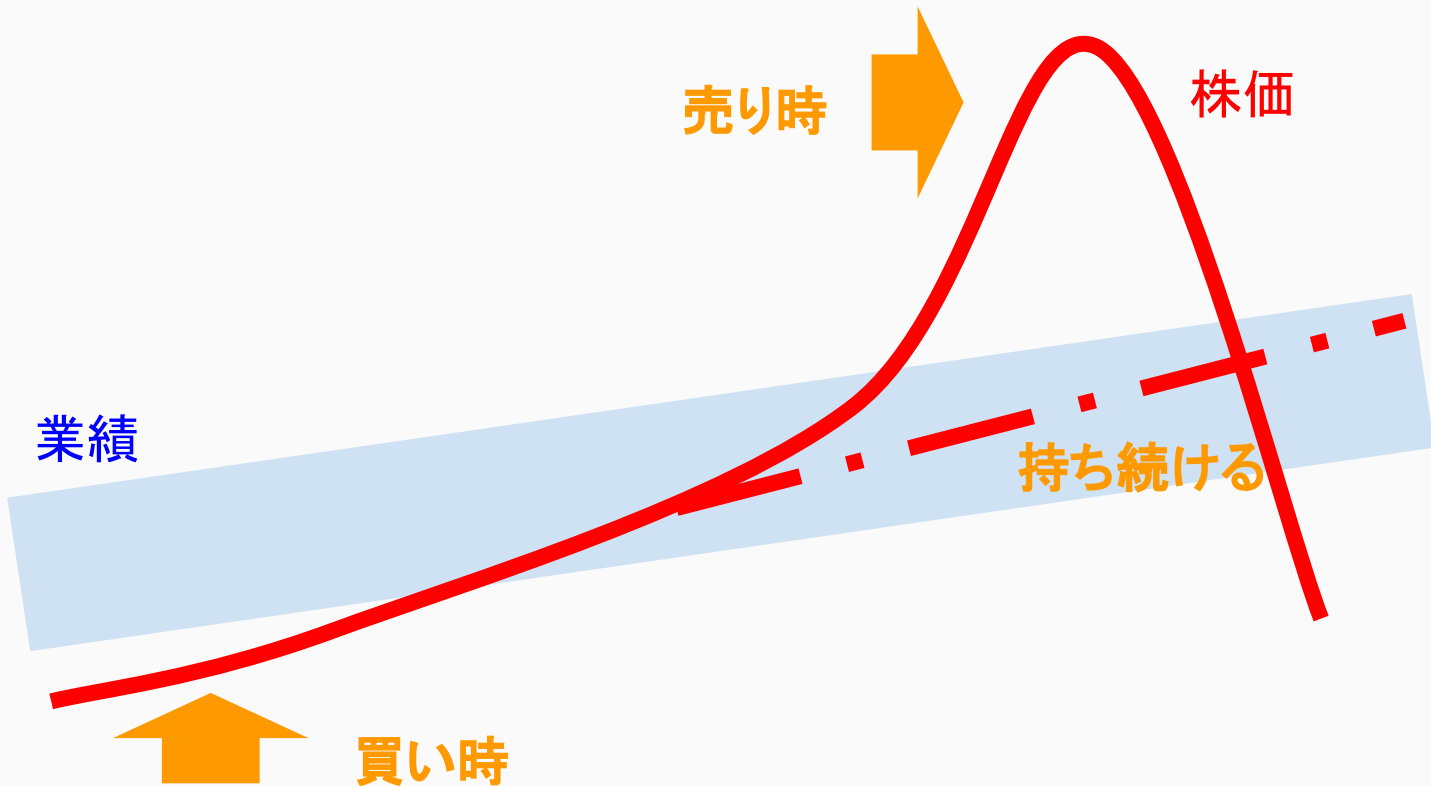
- 米国では10年国債利回りが2年国債利回りを下回る**逆イールドが発生**、米景気を懸念する声も。
- 直近のコロナでの景気後退期を除き、過去、**逆イールド発生から約2年2カ月で景気後退**の傾向。

【出典】三井住友DSアセットマネジメント「[改めて考える米国の逆イールドが示唆すること](#)」(2022年4月6日)

当面の見通しと戦略



株の買い時・売り時



株価が下がるほど長期投資に有利

**株式市場は短期では票数計算機だが
長期的には計量器である**

ベンジャミン・グレアム

資産家は恐慌時に生まれる

米国の格言